感染症発生動向調査
2019年第6週
（2月4日～2月10日）

京都市感染症週報

京都市感染症情報センター
（ 京都市衛生環境研究所 ）
http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html

◆ 今週のコメント （感染地域，感染経路については推定を含みます。）

・ **細菌性赤痢**の報告が1例（20歳代男性）あり，症状は下痢，テネスムス（しぶり腹）です。感染地域は国外（インド）で，感染経路は経口感染です。本年初めての報告となっています。

・ **レジオネラ症**の報告が1例（70歳代男性）あり，症状は発熱，咳嗽，呼吸困難です。感染地域は国内で，感染経路は水系感染です。本年の累積報告数は3例となりました。

・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が1例（30歳代女性1例）（第5週追加分）あり，症状は敗血症です。感染地域は国内で，感染経路は不明です。本年の累積報告数は6例となりました。

・ **ジアルジア症**の報告が1例（20歳代男性）（第5週追加分）あり，症状は下痢です。感染地域は国外（インド）で，感染経路は経口感染，性的接触です。本年初めての報告となっています。

・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が2例（10歳未満女性及び80歳代女性各1例）ありました。いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は13例となりました。

・ **梅毒**の報告が1例（70歳代男性）ありました。症状は丘疹性梅毒疹です。感染地域は国内で，感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は4例となりました。

京都市では，平日昼間，土日及び夜間にHIV・性感染症（梅毒・淋菌・クラミジア）検査を実施しています。詳細については，下記のホームページを御覧ください。
○京都市情報館「京都市のHIV検査について（平成29年度から検査体制を変更しました。）」
http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html

・ **百日咳**の報告が2例（10歳未満男性及び女性各1例）（第5週追加報告分1例含む）ありました。いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は10例となりました。

・ **風しん**（検査診断例）の報告が1例（30歳代男性）あり，症状は発熱，咳，鼻汁，結膜充血，発疹，リンパ節腫脹です。感染地域は国内で，感染経路は不明です。本年の累積報告数は2例となりました。

・ **麻しん**（検査診断例）の報告が1例（30歳代男性）ありました。症状は発熱，結膜充血，発疹です。感染地域は国外（カンボジア）で，感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は2例となりました。

・ 京都市の**インフルエンザ**の定点当たり報告数は，前週の37．22（2，568例）から21．64（1，493例）と減少しました。

◆ 今週のトピックス：＜伝染性紅斑＞

京都市の伝染性紅斑の定点あたり報告数は0.74（32例），全国では0.57となり，ともに昨年末から引続き，過去5年平均値を大きく上回る状態が続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

・ **二類：結核 6例（肺結核 3例，その他結核 なし，潜在性結核感染者3例）うち喀痰塗抹陽性 2例**
【1月以降の累積報告数 29例（肺結核 9例，その他結核 5例，潜在性結核感染者 15例）うち喀痰塗抹陽性 4例】
・ **三類：細菌性赤痢 1例**【1月以降の累積報告数 1例】
・ **四類：レジオネラ症 1例**【1月以降の累積報告数 3例】
・ **五類：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例**【1月以降の累積報告数 6例】
・ **五類：ジアルジア症 1例**【1月以降の累積報告数 1例】
・ **五類：侵襲性肺炎球菌感染症 2例**【1月以降の累積報告数 13例】
・ **五類：梅毒 1例**【1月以降の累積報告数 4例】
・ **五類：百日咳 2例**【1月以降の累積報告数 10例】
・ **五類：風しん（検査診断例） 1例**【1月以降の累積報告数 2例】
・ **五類：麻しん（検査診断例）1例**【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

（市内定点数 インフルエンザ定点69，小児科定点43，眼科定点10，基幹定点1）

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	インフルエンザ	21．64	1，493
小児科	① 感染性胃腸炎	6．47	278
（降順5位まで）	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1．35	58
	③ 伝染性紅斑	0．74	32
	④ RSウイルス感染症	0．26	11
	⑤ 突発性発しん	0．19	8
眼科	流行性角結膜炎	0．20	2

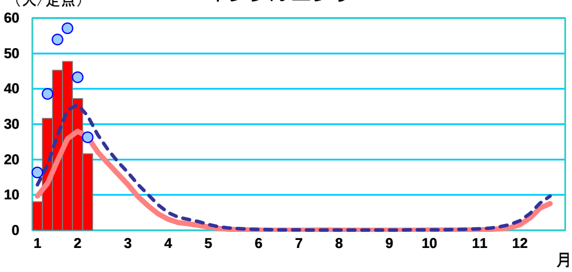
【次ページ以降の主な内容】
発生状況の概況グラフ ／ 今週のトピックス：＜伝染性紅斑＞
付表（疾病，行政区別報告数 / 年齢階級，疾病別報告数 / 週，疾病別報告数）

（注）京都市のデータは，2019年2月13日現在の報告数で，全国の還元データと若干異なる場合があります。
また，本情報での患者数は，届出医療機関所在地での集計で，患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

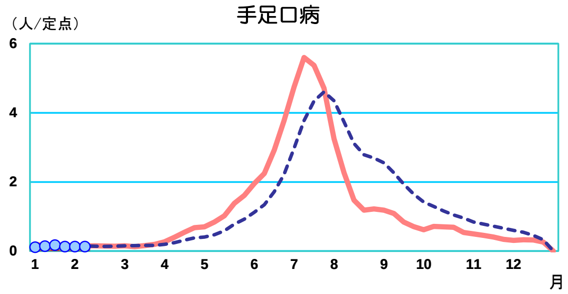
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ 及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）

京都市_本年　京都市_過去５年平均値
全国_本年　全国_過去５年平均値

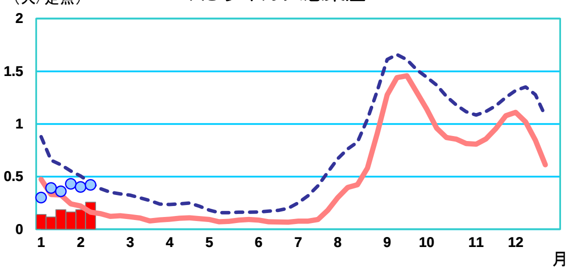
インフルエンザ



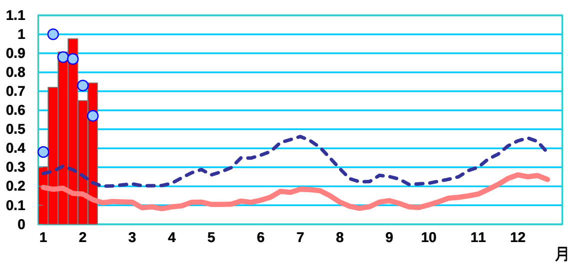
手足口病



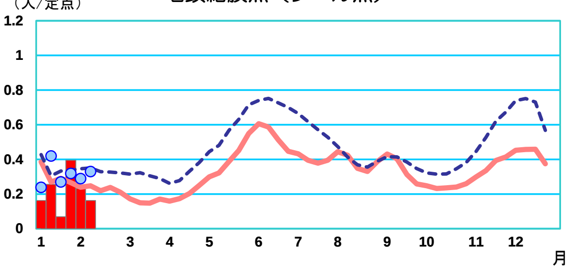
RSウイルス感染症



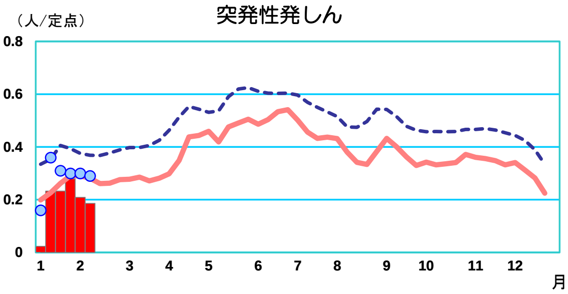
伝染性紅斑（りんご病）



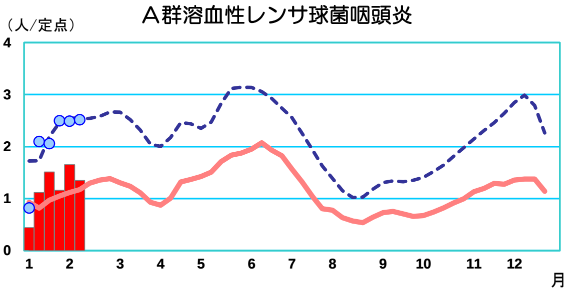
咽頭結膜熱（プール熱）



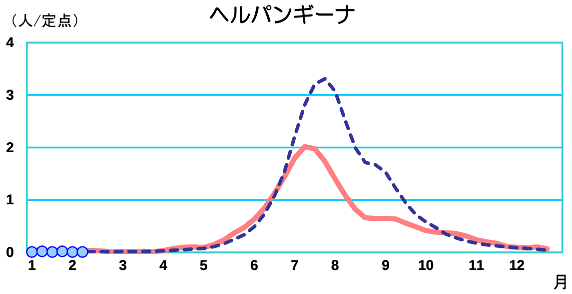
突発性発しん



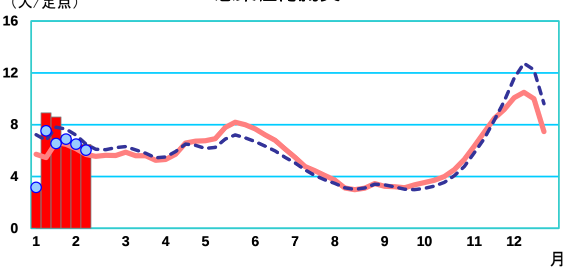
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎



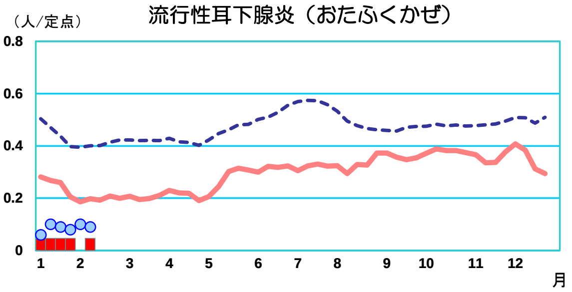
ヘルパンギーナ



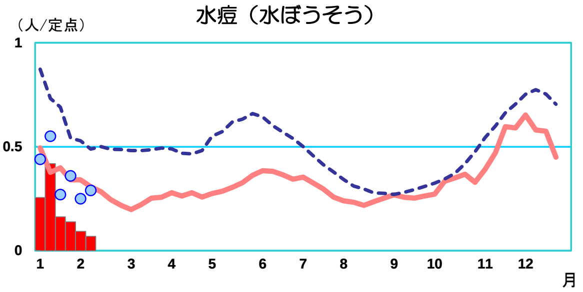
感染性胃腸炎



流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）



水痘（水ぼうそう）



第6週（2月4日～2月10日）トピックス：＜伝染性紅斑＞

発生動向

京都市の伝染性紅斑の定点あたり報告数は0.74（32例），全国では0.57となり，ともに昨年末から引続き，過去5年平均値を大きく上回る状態が続いています（図1）。本市の平成11年からの定点当たり報告数の推移をみると，4～5年ごとの流行周期があります（図2）。今年は，直近で比較的大きな流行となった平成27年から4年目にあたることから，今後の発生動向に注意が必要です。

平成28年から平成31年第6週までの本市の年齢階級別割合を年ごとにみると，どの年も9歳以下で全体の9割を占めています（図3）。中でも，年により多少の変動はあるものの，例年，3歳から6歳が約半数近くを占めています。

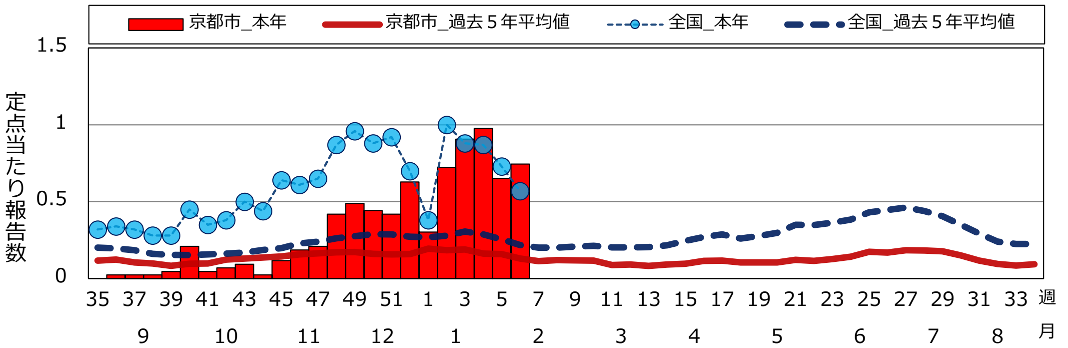
病態

本疾患はウイルスを原因とする発疹性感染症で，その感染経路は，患者の咳やくしゃみなどのしぶきによる飛沫，あるいは接触感染です。10～20日程度の潜伏期間の後，軽い風邪症状を経て，両頬にりんごのような紅い発疹が現れることから，「りんご病」とも呼ばれます。両頬以外にも，手足にも発疹がみられることがあります。予防接種及び特効薬はなく，対症療法となりますが，ほとんどは軽症で予後良好です。しかし，妊婦が感染すると，胎児に影響を及ぼすことがあります。

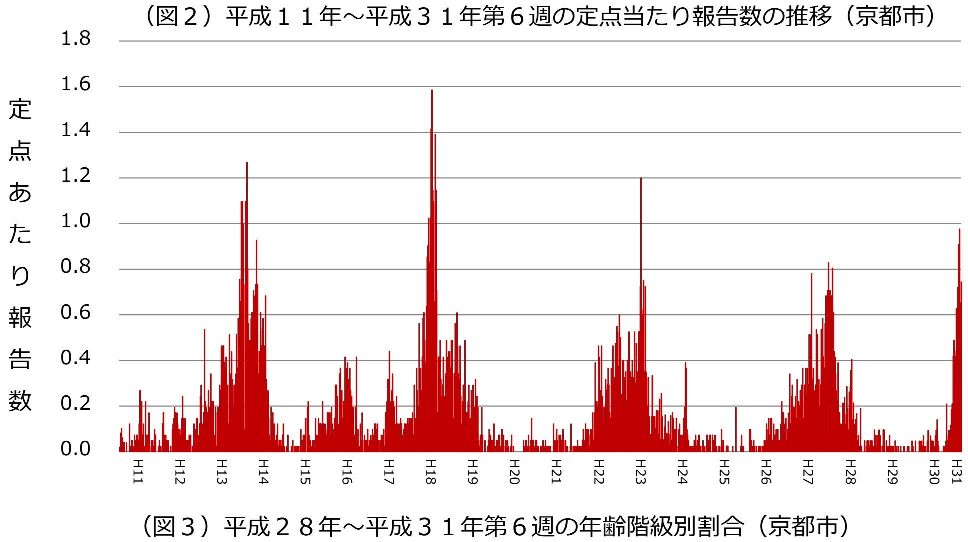
予防

本疾患のウイルスの感染力は，初期の風邪症状の時に最も強く，発疹が出た時点では既にありません。このため，予防方法は日頃から一般的な感染予防対策（手洗い，うがい，せきエチケット等）を行うことです。好発年齢が3歳～6歳であることから，保育施設等の集団発生を予防するためにも，流行時期に風邪症状等があれば，早めに医師の診断を受け，周囲に感染が広がらないように気をつける必要があります。また，これらの施設で流行している場合には，その流行が収束するまでの間，妊婦が施設内に立ち入ることは，可能な限り控えましょう。

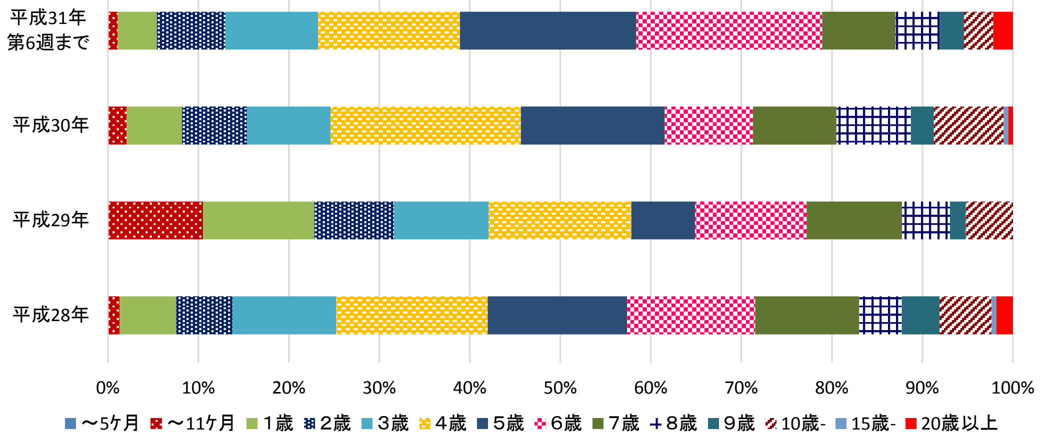
（図１）京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



（図２）平成１１年～平成３１年第６週の定点当たり報告数の推移（京都市）



（図３）平成２８年～平成３１年第６週の年齢階級別割合（京都市）



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第6週

疾病,行政区別報告数　　2019年2月4日～2019年2月10日　　データ入手日:2019年2月13日

男女合計	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
北	80	−	1	1	4	−	−	−	−	−	−	−	2					
上京	47	−	−	1	10	−	−	−	−	−	−	−	−					
左京	219	1	−	3	31	1	−	5	1	−	−	−	−					
中京	63	1	−	5	11	−	−	−	1	3	−	−	−	−	−	−	−	−
東山	53	−	−	1	16	−	−	−	−	−	−							
山科	158	1	−	4	5	1	−	9	3	−	1	−	−					
下京	63	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−							
南	165	−	−	6	25	−	2	4	−	−	−							
右京	174	4	3	21	57	−	−	6	1	−	−	−	−					
伏見	336	3	1	10	80	1	1	3	2	−	1	−	−					
西京	135	1	2	6	38	−	−	5	−	−	−	−	−					
京都市計	1,493	11	7	58	278	3	3	32	8	3	2	−	2	−	−	−	−	−

疾病,行政区別定点当たり報告数

男女合計	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
北	11.43	−	0.25	0.25	1.00	−	−	−	−	−	−	−	2.00					
上京	9.40	−	−	0.33	3.33	−	−	−	−	−	−	−	−					
左京	31.29	0.25	−	0.75	7.75	0.25	−	1.25	0.25	−	−	−	−					
中京	12.60	0.33	−	1.67	3.67	−	−	−	0.33	1.00	−	−	−	−	−	−	−	−
東山	17.67	−	−	0.50	8.00	−	−	−	−	−	−							
山科	22.57	0.20	−	0.80	1.00	0.20	−	1.80	0.60	−	0.20	−	−					
下京	21.00	−	−	−	0.50	−	−	−	−	−	−							
南	33.00	−	−	2.00	8.33	−	0.67	1.33	−	−	−							
右京	21.75	0.80	0.60	4.20	11.40	−	−	1.20	0.20	−	−	−	−					
伏見	30.55	0.43	0.14	1.43	11.43	0.14	0.14	0.43	0.29	−	0.14	−	−					
西京	16.88	0.20	0.40	1.20	7.60	−	−	1.00	−	−	−	−	−					
京都市計	21.64	0.26	0.16	1.35	6.47	0.07	0.07	0.74	0.19	0.07	0.05	−	0.20	−	−	−	−	−

※1 インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。
※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第6週

年齢階級，疾病別報告数　　2019年2月4日～2019年2月10日　　データ入手日:2019年2月13日

京都市	年齢1	総数	～5ケ月	～11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ケ月	～11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ケ月	～11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	1，493	10	19	73	85	88	99	86	89	74	71	67	204	61	82	94	99	63	41	32	56
RSウイルス感染症	年齢3	11	1	2	6	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽頭結膜熱	年齢3	7	－	1	2	2	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢3	58	－	－	－	9	4	9	13	6	2	5	1	4	－	5						
感染性胃腸炎	年齢3	278	2	13	35	36	29	23	26	13	18	14	11	32	2	24						
水痘	年齢3	3	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	1	－	－	－						
手足口病	年齢3	3	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝染性紅斑	年齢3	32	－	1	1	4	6	6	6	4	3	1	－	－	－	－						
突発性発しん	年齢3	8	－	1	6	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ	年齢3	3	－	－	1	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎	年齢3	2	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎	年齢2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

年齢階級，疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ケ月	～11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ケ月	～11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ケ月	～11ケ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	21.64	0.14	0.28	1.06	1.23	1.28	1.43	1.25	1.29	1.07	1.03	0.97	2.96	0.88	1.19	1.36	1.43	0.91	0.59	0.46	0.81
RSウイルス感染症	年齢3	0.26	0.02	0.05	0.14	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽頭結膜熱	年齢3	0.16	－	0.02	0.05	0.05	－	0.02	－	0.02	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢3	1.35	－	－	－	0.21	0.09	0.21	0.30	0.14	0.05	0.12	0.02	0.09	－	0.12						
感染性胃腸炎	年齢3	6.47	0.05	0.30	0.81	0.84	0.67	0.53	0.60	0.30	0.42	0.33	0.26	0.74	0.05	0.56						
水痘	年齢3	0.07	－	－	－	－	－	－	0.05	－	－	－	0.02	－	－	－						
手足口病	年齢3	0.07	－	－	0.07	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝染性紅斑	年齢3	0.74	－	0.02	0.02	0.09	0.14	0.14	0.14	0.09	0.07	0.02	－	－	－	－						
突発性発しん	年齢3	0.19	－	0.02	0.14	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ	年齢3	0.07	－	－	0.02	－	－	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎	年齢3	0.05	－	－	－	－	－	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎	年齢2	0.20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－	0.10	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象：2019年第6週

週，疾病別報告数　　データ入手日：2019年2月13日

京都市　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	559	2,185	3,125	3,292	2,568	1,493
RSウイルス感染症	6	5	8	7	8	11
咽頭結膜熱	7	11	3	17	10	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	48	65	50	71	58
感染性胃腸炎	130	383	369	308	282	278
水痘	11	18	7	6	4	3
手足口病	5	4	2	1	2	3
伝染性紅斑	13	31	39	42	28	32
突発性発しん	1	10	10	12	9	8
ヘルパンギーナ	1	1	−	2	−	3
流行性耳下腺炎	2	2	2	2	−	2
急性出血性結膜炎	−	−	−	−	−	−
流行性角結膜炎	1	8	1	1	1	2
細菌性髄膜炎（※2）	−	−	−	−	−	−
無菌性髄膜炎	−	−	−	−	−	−
マイコプラズマ肺炎	−	−	−	−	−	−
クラミジア肺炎（※3）	−	−	−	−	−	−
感染性胃腸炎（※4）	−	−	−	−	−	−
合計	755	2,706	3,631	3,740	2,983	1,900

週，疾病別定点当たり報告数

京都市　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	8.10	31.67	45.29	47.71	37.22	21.64
RSウイルス感染症	0.14	0.12	0.19	0.16	0.19	0.26
咽頭結膜熱	0.16	0.26	0.07	0.40	0.23	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.44	1.12	1.51	1.16	1.65	1.35
感染性胃腸炎	3.02	8.91	8.58	7.16	6.56	6.47
水痘	0.26	0.42	0.16	0.14	0.09	0.07
手足口病	0.12	0.09	0.05	0.02	0.05	0.07
伝染性紅斑	0.30	0.72	0.91	0.98	0.65	0.74
突発性発しん	0.02	0.23	0.23	0.28	0.21	0.19
ヘルパンギーナ	0.02	0.02	−	0.05	−	0.07
流行性耳下腺炎	0.05	0.05	0.05	0.05	−	0.05
急性出血性結膜炎	−	−	−	−	−	−
流行性角結膜炎	0.10	0.80	0.10	0.10	0.10	0.20
細菌性髄膜炎（※2）	−	−	−	−	−	−
無菌性髄膜炎	−	−	−	−	−	−
マイコプラズマ肺炎	−	−	−	−	−	−
クラミジア肺炎（※3）	−	−	−	−	−	−
感染性胃腸炎（※4）	−	−	−	−	−	−
合計	12.74	44.40	57.13	58.21	46.95	31.26

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。

※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。